

決算短信補足資料

(2022年3月期 第1四半期決算)

2021年7月30日

西日本旅客鉄道株式会社

1.決算ハイライト

(単位：億円)

	2021年3月期 1Q実績*	2022年3月期 1Q実績	対前年		2021年3月期 通期実績*	2022年3月期通期		対前年		対予想 増減
			増減	比率(%)		前回 (4/30) 予想	今回 (7/30) 予想	増減	比率(%)	
	A	B	B-A	B/A	C	D	E	E-C	E/C	E-D
【連結】										
営業収益	1,845	2,019	+173	109.4	9,200	12,575	10,520 ~10,890	+1,319 ~1,689	114.3 ~118.4	▲ 2,055 ~▲1,685
営業利益又は損失 (▲)	▲ 942	▲ 493	+448	-	▲ 2,455	120	▲ 1,290 ~▲940	+1,165 ~1,515	-	▲ 1,410 ~▲1,060
経常損失 (▲)	▲ 998	▲ 515	+482	-	▲ 2,573	▲ 50	▲ 1,415 ~▲1,065	+1,158 ~1,508	-	▲ 1,365 ~▲1,015
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益又は純損失 (▲)	▲ 767	▲ 320	+447	-	▲ 2,331	30	▲ 1,165 ~▲815	+1,166 ~1,516	-	▲ 1,195 ~▲845
【単体】										
営業収益	931	1,192	+260	128.0	5,068	7,365	5,890 ~6,220	+821 ~1,151	116.2 ~122.7	▲ 1,475 ~▲1,145
運輸収入	720	989	+268	137.3	4,190	6,430	4,990 ~5,320	+799 ~1,129	119.1 ~127.0	▲ 1,440 ~▲1,110
営業費用	1,752	1,615	▲ 136	92.2	7,406	7,335	7,230	▲ 176	97.6	▲ 105
人件費	520	458	▲ 62	88.0	1,838	1,805	1,790	▲ 48	97.3	▲ 15
物件費	749	700	▲ 49	93.4	3,544	3,610	3,535	▲ 9	99.7	▲ 75
動力費	97	88	▲ 9	90.4	395	395	395	▲ 0	99.8	-
修繕費	266	245	▲ 21	91.9	1,519	1,435	1,395	▲ 124	91.8	▲ 40
業務費	384	366	▲ 18	95.3	1,628	1,780	1,745	+116	107.1	▲ 35
減価償却費	334	308	▲ 25	92.3	1,410	1,290	1,290	▲ 120	91.5	-
営業利益又は損失 (▲)	▲ 821	▲ 423	+397	-	▲ 2,338	30	▲ 1,340 ~▲1,010	+998 ~1,328	-	▲ 1,370 ~▲1,040
経常損失 (▲)	▲ 869	▲ 451	+418	-	▲ 2,507	▲ 140	▲ 1,485 ~▲1,155	+1,022 ~1,352	-	▲ 1,345 ~▲1,015
四半期（当期）純利益又は純損失 (▲)	▲ 617	▲ 235	+382	-	▲ 2,173	25	▲ 1,170 ~▲840	+1,003 ~1,333	-	▲ 1,195 ~▲865

*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

2.単体損益計算書

(単位：億円)

	2021年3月期 1Q実績*	2022年3月期 1Q実績	対前年	
			増減	比率(%)
	A	B	B-A	B/A
営業収益	931	1,192	+260	128.0
運輸収入	720	989	+268	137.3
その他収入	210	202	▲ 8	96.2
営業費用	1,752	1,615	▲ 136	92.2
人件費	520	458	▲ 62	88.0
物件費	749	700	▲ 49	93.4
動力費	97	88	▲ 9	90.4
修繕費	266	245	▲ 21	91.9
業務費	384	366	▲ 18	95.3
線路使用料等	68	66	▲ 2	96.6
租税公課	79	82	+3	103.9
減価償却費	334	308	▲ 25	92.3
営業損失 (▲)	▲ 821	▲ 423	+397	—
営業外損益	▲ 48	▲ 27	+20	—
営業外収益	19	32	+12	—
営業外費用	67	59	▲ 8	—
経常損失 (▲)	▲ 869	▲ 451	+418	—
特別損益	▲ 24	6	+31	—
特別利益	19	31	+12	—
特別損失	44	25	▲ 19	—
四半期純損失 (▲)	▲ 617	▲ 235	+382	—

*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

3.運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2022年3月期 1Q実績				
		運輸収入	対前年	主な増減要因		
新幹線	370	+145 (164.3%)	基礎トレンド(100.0%)			
			特殊要因	・コロナ影響(国内)の反動増	+143	
				等		
在来線	近畿圏	480	+93 (124.1%)	基礎トレンド(100.0%)		
				特殊要因	・コロナ影響(国内)の反動増	+92
					等	
	その他	138	+30 (128.5%)	基礎トレンド(100.0%)		
				特殊要因	・コロナ影響(国内)の反動増	+29
					等	
在来線計		618	+123 (125.0%)			
運輸収入計		989	+268 (137.3%)			

※荷物収入は金額些少のため省略

4.運輸収入と旅客輸送量の実績

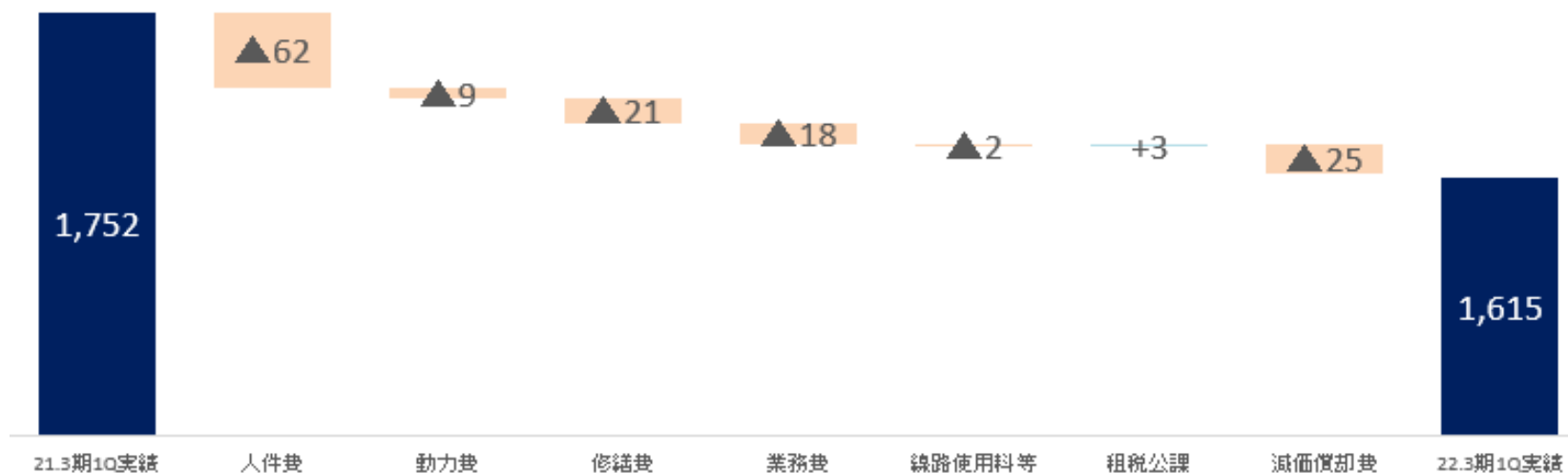
	運輸収入 (単位：億円)			輸送人キロ (単位：百万人キロ)		
	1 Q実績 (4/1～6/30)			1 Q実績 (4/1～6/30)		
	2021年 3月期*	2022年 3月期	対前年	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年
全社計	720	989	+268 137.3%	6,816	8,398	+1,581 123.2%
新幹線	225	370	+145 164.3%	1,042	1,697	+655 162.9%
定期	25	26	+1 104.8%	197	211	+14 107.3%
定期外	199	343	+143 171.9%	844	1,486	+641 175.9%
在来線	494	618	+123 125.0%	5,773	6,700	+926 116.0%
定期	280	304	+24 108.6%	4,631	5,049	+417 109.0%
定期外	214	314	+99 146.5%	1,141	1,651	+509 144.6%
近畿圏	387	480	+93 124.1%	4,587	5,351	+763 116.6%
定期	229	249	+19 108.6%	3,737	4,108	+370 109.9%
定期外	157	231	+73 146.7%	849	1,242	+393 146.3%
その他	107	138	+30 128.5%	1,186	1,349	+163 113.8%
定期	50	54	+4 108.8%	893	941	+47 105.3%
定期外	57	83	+26 145.9%	292	408	+116 139.7%

*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

5.単体営業費用の主な増減要因

(単位：億円)

	2022年3月期 1Q実績			主な増減要因
		対前年		
人件費	458	▲ 62	88.0%	賞与の減、人員の減 等
動力費	88	▲ 9	90.4%	燃料費調整額の減 等
修繕費	245	▲ 21	91.9%	工事進捗差、施策抑制による減 等
業務費	366	▲ 18	95.3%	会社間精算による減、広告宣伝費の減 等
線路使用料等	66	▲ 2	96.6%	東西線使用料の減 等
租税公課	82	+3	103.9%	法人事業税の増 等
減価償却費	308	▲ 25	92.3%	新幹線車両の償却方法見直し 等
営業費用計	1,615	▲ 136	92.2%	



6.連結損益計算書

(単位：億円)

	2021年3月期 1Q実績*	2022年3月期 1Q実績	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
	A	B		
営業収益	1,845	2,019	+173	109.4
営業費用	2,788	2,513	▲ 274	90.1
営業損失 (▲)	▲ 942	▲ 493	+448	—
営業外損益	▲ 55	▲ 21	+33	—
営業外収益	14	46	+31	—
営業外費用	70	68	▲ 2	—
経常損失 (▲)	▲ 998	▲ 515	+482	—
特別損益	▲ 82	▲ 3	+78	—
特別利益	23	43	+19	—
特別損失	105	47	▲ 58	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失 (▲)	▲ 767	▲ 320	+447	—
四半期包括利益	▲ 790	▲ 330	+459	—

*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

7.セグメント情報

(単位：億円)

	2021年3月期 1Q実績 ^{*3}	2022年3月期 1Q実績	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
	A	B		
営業収益 ^{*1}	1,845	2,019	+173	109.4
運輸業	827	1,108	+280	134.0
流通業	181	258	+77	143.0
物販・飲食	151	215	+64	142.6
【宿泊特化型ホテル】(再掲) ^{*2}	【5】	【12】	【+7】	【225.7】
百貨店	21	33	+12	159.6
不動産業	290	326	+36	112.5
ショッピングセンター	68	90	+22	132.4
不動産賃貸・販売	214	231	+16	107.8
【不動産販売】(再掲)	【97】	【112】	【+14】	【115.3】
その他	547	326	▲ 221	59.6
ホテル	16	33	+16	199.7
旅行	357	120	▲ 237	33.6
営業利益又は損失 (▲) ^{*1}	▲ 942	▲ 493	+448	—
運輸業	▲ 866	▲ 474	+392	—
流通業	▲ 56	▲ 38	+18	—
物販・飲食	▲ 48	▲ 30	+18	—
百貨店	▲ 7	▲ 6	+1	—
不動産業	66	83	+17	126.9
ショッピングセンター	▲ 11	6	+17	—
不動産賃貸・販売	55	52	▲ 2	94.9
その他	▲ 77	▲ 70	+7	—
ホテル	▲ 35	▲ 30	+4	—
旅行	▲ 26	▲ 28	▲ 1	—

^{*1} 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

^{*2} 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

^{*3} 2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

8.各セグメントの主な増減要因

(単位：億円)

			2022年3月期 1Q実績			
			対前年		主な増減要因	
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	215	+64	142.6	・コロナ影響の反動増 等
		営業損失	▲ 30	+18	-	
	百貨店	営業収益	33	+12	159.6	
		営業損失	▲ 6	+1	-	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	90	+22	132.4	・コロナ影響の反動増 等
		営業利益	6	+17	-	
	不動産賃貸・販売	営業収益	231	+16	107.8	・販売戸数の増 等
		営業利益	52	▲ 2	94.9	・分譲利益率の反動減 等
その他	ホテル	営業収益	33	+16	199.7	・コロナ影響の反動増 等
		営業損失	▲ 30	+4	-	
	旅行	営業収益	120	▲ 237	33.6	・コロナ影響による減 等
		営業損失	▲ 28	▲ 1	-	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

9.連結財政状況

(単位：億円)

	2021年3月期 期末* A	2022年3月期 1Q期末 B	増減 B-A
資産	34,773	35,436	+662
負債	25,211	26,303	+1,092
純資産	9,562	9,133	▲429
長期債務残高	15,595	17,364	+1,769
【長期債務平均金利 (%)】	【1.28】	【1.19】	【▲0.09】
新幹線債務	1,009	1,009	-
【新幹線債務平均金利 (%)】	【6.55】	【6.55】	【-】
社債	8,399	9,999	+1,600
【社債平均金利 (%)】	【1.11】	【1.00】	【▲0.11】
自己資本比率 (%)	24.5	22.9	▲1.6
1株当たり純資産 (円)	4,461.46	4,240.78	▲220.68

*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

10.単体業績予想

(単位：億円)

	2021年3月期 通期実績*	2022年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回 (4/30) 予想 B	今回 (7/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
	A					
営業収益	5,068	7,365	5,890 ~6,220	+821 ~1,151	116.2 ~122.7	▲ 1,475 ~▲1,145
運輸収入	4,190	6,430	4,990 ~5,320	+799 ~1,129	119.1 ~127.0	▲ 1,440 ~▲1,110
その他収入	878	935	900	+21	102.5	▲ 35
営業費用	7,406	7,335	7,230	▲ 176	97.6	▲ 105
人件費	1,838	1,805	1,790	▲ 48	97.3	▲ 15
物件費	3,544	3,610	3,535	▲ 9	99.7	▲ 75
動力費	395	395	395	▲ 0	99.8	-
修繕費	1,519	1,435	1,395	▲ 124	91.8	▲ 40
業務費	1,628	1,780	1,745	+116	107.1	▲ 35
線路使用料等	276	270	270	▲ 6	97.7	-
租税公課	336	360	345	+8	102.4	▲ 15
減価償却費	1,410	1,290	1,290	▲ 120	91.5	-
営業利益又は損失 (▲)	▲ 2,338	30	▲ 1,340 ~▲1,010	+998 ~1,328	-	▲ 1,370 ~▲1,040
営業外損益	▲ 169	▲ 170	▲ 145	+24	85.5	+25
営業外収益	84	65	90	+5	-	+25
営業外費用	253	235	235	▲ 18	-	-
経常損失 (▲)	▲ 2,507	▲ 140	▲ 1,485 ~▲1,155	+1,022 ~1,352	-	▲ 1,345 ~▲1,015
特別損益	▲ 239	175	235	+474	-	+60
特別利益	250	-	-	-	-	-
特別損失	490	-	-	-	-	-
当期純利益又は純損失 (▲)	▲ 2,173	25	▲ 1,170 ~▲840	+1,003 ~1,333	-	▲ 1,195 ~▲865

*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

11.運輸収入の見通し

(単位：億円)

		2022年3月期 通期見通し				
		対前年	主な増減要因		対前回	
新幹線	2,145 ~2,375	+489 (129.6%) ~719 (143.5%)	基礎トレンド(100.0%)		▲ 990 ~▲760	
			特殊要因	・コロナ影響(国内)の反動増		+462 ~ +667
				・インバウンド		+5 ~ +8
				・国内旅行需要の増		+21 ~ +43
		等				
在来線	2,175 ~2,240	+233 (112.0%) ~298 (115.4%)	基礎トレンド(100.0%)		▲ 295 ~▲230	
			特殊要因	・コロナ影響(国内)の反動増		+217 ~ +277
				・インバウンド		+4 ~ +7
				・国内旅行需要の増		+1 ~ +3
		等				
在来線	670 ~705	+76 (112.9%) ~111 (118.8%)	基礎トレンド(100.0%)		▲ 155 ~▲120	
			特殊要因	・コロナ影響(国内)の反動増		+63 ~ +94
				・インバウンド		+1
				・国内旅行需要の増		+2 ~ +5
		等				
在来線計		2,845 ~2,945	+310 (112.2%) ~410 (116.2%)	▲ 450 ~▲350		
運輸収入計		4,990 ~5,320	+799 (119.1%) ~1,129 (127.0%)	▲ 1,440 ~▲1,110		

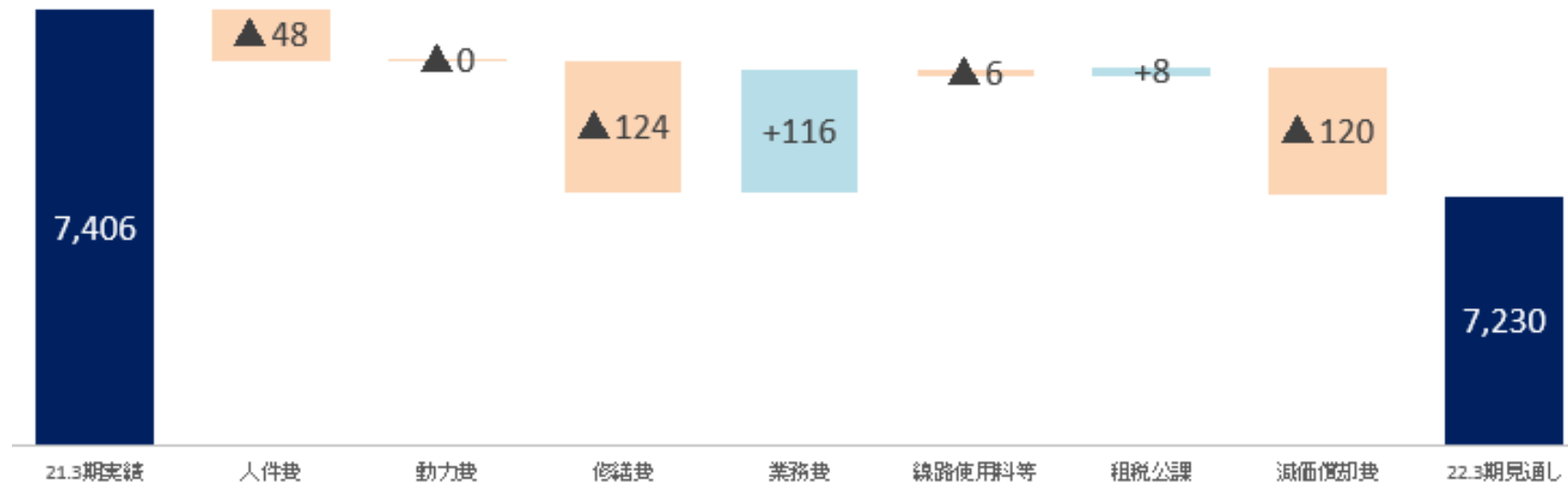
※荷物収入は金額些少のため省略

※インバウンドを含むコロナ影響の対前年反動増は約+750~+1,060億円

12.単体営業費用の見通し

(単位：億円)

	2022年3月期 通期見通し				
		対前年			対前回
人件費	1,790	▲ 48	97.3%	人員減、賞与の減、超勤手当の減 等	▲ 15
動力費	395	▲ 0	99.8%		-
修繕費	1,395	▲ 124	91.8%	施策抑制による減 等	▲ 40
業務費	1,745	+116	107.1%	発売手数料の増、DX関連経費の増 等	▲ 35
線路使用料等	270	▲ 6	97.7%	東西線使用料の減 等	-
租税公課	345	+8	102.4%	法人事業税の増 等	▲ 15
減価償却費	1,290	▲ 120	91.5%	新幹線車両の償却方法見直し 等	-
営業費用計	7,230	▲ 176	97.6%		▲ 105



13.連結業績予想

(単位：億円)

	2021年3月期 通期実績* A	2022年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回 (4/30) 予想 B	今回 (7/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	9,200	12,575	10,520 ~10,890	+1,319 ~1,689	114.3 ~118.4	▲ 2,055 ~▲1,685
営業費用	11,655	12,455	11,810 ~11,830	+154 ~174	101.3 ~101.5	▲ 645 ~▲625
営業利益又は損失 (▲)	▲ 2,455	120	▲ 1,290 ~▲940	+1,165 ~1,515	-	▲ 1,410 ~▲1,060
営業外損益	▲ 118	▲ 170	▲ 125	▲ 6	105.7	+45
営業外収益	130	69	132	+1	-	+62
営業外費用	248	239	257	+8	-	+17
経常損失 (▲)	▲ 2,573	▲ 50	▲ 1,415 ~▲1,065	+1,158 ~1,508	-	▲ 1,365 ~▲1,015
特別損益	▲ 173	165	240	+413	-	+75
特別利益	319	-	-	-	-	-
特別損失	493	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失 (▲)	▲ 2,331	30	▲ 1,165 ~▲815	+1,166 ~1,516	-	▲ 1,195 ~▲845
1株当たり当期純利益 又は純損失 (▲) (円)	▲ 1,219.57	15.69	▲ 609.29 ~▲426.24	+610.28 ~+793.33	-	-

*2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

14.連結業績予想(セグメント別)

(単位：億円)

	2021年3月期 通期実績*3 A	2022年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回 (4/30) 予想 B	今回 (7/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益*1	9,200	12,575	10,520 ~10,890	+1,319 ~1,689	114.3 ~118.4	▲ 2,055 ~▲1,685
運輸業	4,697	7,072	5,580 ~5,920	+882 ~1,222	118.8 ~126.0	▲ 1,492 ~▲1,152
流通業	1,087	1,581	1,480 ~1,490	+392 ~402	136.1 ~137.0	▲ 101 ~▲91
物販・飲食	882	1,303	1,212 ~1,222	+329 ~339	137.3 ~138.4	▲ 91 ~▲81
【宿泊特化型ホテル】(再掲)*2	[45]	[114]	[75] ~[85]	[+29] ~[+39]	[163.1] ~[184.8]	[▲ 39] ~[▲29]
百貨店	163	224	224	+60	137.1	-
不動産業	1,413	1,483	1,530	+116	108.2	+47
ショッピングセンター	423	474	474	+50	112.0	-
不動産賃貸・販売	969	992	1,035	+65	106.8	+43
【不動産販売】(再掲)	[501]	[543]	[563]	[+62]	[112.4]	[+20]
その他	2,002	2,439	1,930 ~1,950	▲ 72 ~▲52	96.4 ~97.4	▲ 509 ~▲489
ホテル	153	305	210 ~230	+56 ~76	137.2 ~150.2	▲ 95 ~▲75
旅行	876	1,190	702	▲ 174	80.1	▲ 488
営業利益又は損失 (▲) *1	▲ 2,455	120	▲ 1,290 ~▲940	+1,165 ~1,515	-	▲ 1,410 ~▲1,060
運輸業	▲ 2,515	▲ 96	▲ 1,505 ~▲1,170	+1,010 ~1,345	-	▲ 1,409 ~▲1,074
流通業	▲ 150	▲ 14	▲ 35 ~▲30	+115 ~120	-	▲ 21 ~▲16
物販・飲食	▲ 127	▲ 15	▲ 37 ~▲31	+90 ~96	-	▲ 22 ~▲16
百貨店	▲ 22	0	0	+22	-	-
不動産業	292	271	280	▲ 12	95.7	+9
ショッピングセンター	20	25	39	+18	186.2	+14
不動産賃貸・販売	189	155	160	▲ 29	84.5	+4
その他	▲ 57	▲ 7	0 ~10	+57 ~67	-	+7 ~17
ホテル	▲ 116	▲ 30	▲ 71 ~▲61	+45 ~55	-	▲ 41 ~▲31
旅行	▲ 73	▲ 45	▲ 25	+48	-	+20

*1 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

*2 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

*3 2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

15.各セグメントの見通し

(単位：億円)

			2022年3月期通期予想				対前回	
			対前年		主な増減要因			
			増減	比率(%)				
流通業	物販・飲食	営業収益	1,212	+329	137.3	・コロナ影響の反動増 等	▲ 91	
			~1,222	~339	~138.4		~▲81	
	営業損失	▲ 37	+90	-	▲ 22			
		~▲31	~96		~▲16			
百貨店	営業収益	224	+60	137.1		-		
	営業利益	0	+22	-		-		
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	474	+50	112.0	・コロナ影響の反動増 等	-	
		営業利益	39	+18	186.2		+14	
	不動産賃貸・販売	営業収益	1,035	+65	106.8		・不動産販売の増 等	+43
		営業利益	160	▲ 29	84.5		・開業経費の増 等	+4
その他	ホテル	営業収益	210	+56	137.2	・コロナ影響の反動増 等	▲ 95	
			~230	~76	~150.2		~▲75	
	営業損失	▲ 71	+45	-	▲ 41			
		~▲61	~55		~▲31			
旅行	営業収益	702	▲ 174	80.1	・コロナ影響による減 等	▲ 488		
	営業損失	▲ 25	+48	-	・経費節減の深度化 等	+20		

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

16. 諸元表

(単位：人、億円)

	2021年3月期 1 Q実績 ^{*2}		2022年3月期 1 Q実績		2021年3月期 通期実績		2022年3月期 通期予想(7/30)	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
連結ROA (%)	-	-	-	-	-	-	-	-
連結ROE (%)	-	-	-	-	-	-	-	-
連結EBITDA ^{*1}	▲ 532		▲ 105		▲ 708		350~700	
連結減価償却費	407		385		1,734		1,635	
連結設備投資 (自己資金)	372		299		2,166		2,450	
単体設備投資 (自己資金)	213		181		1,674		1,700	
安全関連投資	105		96		1,051		850	
1株当たり配当金 (円)	-		-		100.0		100.0	

	2021年3月期 1 Q実績		2022年3月期 1 Q実績		2021年3月期 通期実績		2022年3月期 通期予想(7/30)	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数 (就業人員)	49,903	25,251	48,737	24,124	47,984	23,900	-	-
金融収支	▲ 44	▲ 32	▲ 49	▲ 35	▲ 195	▲ 178	▲ 211	▲ 193
受取利息・配当金	3	15	3	16	9	24	7	18
支払利息	48	48	52	52	204	202	218	211

*1 EBITDA = 営業利益又は損失 + 減価償却費 + のれん償却額

*2 2021年3月期の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 感染症の発生・流行
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2021年7月30日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2021年7月30日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>